

嵐  
の  
中  
に

智



すっかり 温かみを  
失くしてしまった私だけど  
笑ってられるのは  
今でもあなたが  
私を信じて  
そこにすわっているからだと  
思う

捨ててしまいたい思い出ほど  
大切にしてもらいたがって  
いつまでも 心に残っています

幸せだけをみつめる

苦しみの中の  
幸せだけ みつめる

他のものは見ない

幸せを  
小さな 他愛のない幸せだけを  
見つめる

背の伸びた子供が  
服を着がえるように  
私もあなたから  
抜け出してみたい

あなたにはつまらなく思える

雑談さえも

私には 宝物のように感じられるのです

好かれる人は誰でも  
何か持ってる  
心の中に何か住んでる  
多分それは  
とてもやさしいもので  
やさしいのに、なぜか手に入らないようなもの  
簡単なことが 一番難しい

悲しむのはよしましょう  
まわりまで暗くしてしまうから  
泣くのはやめましょう  
よけい 苦しくなるから  
とめようと思っても  
とまらない涙は  
ほうっておいて  
考えましょう  
幸せになることを



抱きしめよう

雲も 山も

川も

私の腕は そんなに大きくはないけれど

抱きしめよう

海も 砂浜も

さんご礁も

私の足は 走りまわる

夏を

泳ごう

空を

私の腕は そんなに力がないけれど

走ろう

海の中を

私の足は そんなに強くはないけれど

とびこもう

嵐の中に

私の心は そんなに強くはないけれど

この空しさは  
どこへ行くのだろう  
ぽっかりと心に開いた  
この空しさは

がんばって  
生きて行こう  
みんながいるから  
がんばってみよう  
夢に向かって  
みんながいるから  
私は 一人じゃない